

Q1 1945年

(解説)

第二次世界大戦を防げなかった国際連盟(第一次世界大戦後の世界平和の確保と国際協力の促進を目的として1920年に設立)の反省を踏まえ、国際連合が1945年の10月24日に51か国の加盟国で設立。日本は1956年12月18日に80番目の加盟国となった。現在は193か国が加盟している。

Q2 9か国

(解説)

広島県と連携協定を締結しているストックホルム国際平和研究所は毎年、シプリ年鑑を発行しており、2025年1月時点の世界の核兵器保有数が発表されている。

核兵器保有国はアメリカ・ロシア・イギリス・フランス・中国・インド・パキスタン・イスラエル・北朝鮮の合計9か国。

Q3 国連からの指令

(解説)

戦後、旧産業奨励館の残骸は、頂上の円盤鉄骨の形から、いつしか市民から原爆ドームと呼ばれるようになった。当時、取り壊すか残すかの存廃論議は次第に本格化し、1966年7月に広島市議会で正式に決定された。1996年にはユネスコの世界文化遺産に登録された。

Q4 原爆死没者の名簿

(解説)

地下の石室内は高さ約1.2メートル、4畳ほどで、名簿が入った奉安箱が並んでいる。

2025年8月6日時点で130冊(349,246人)が保管されており、年に1度湿気を取るため外に出し風通しを行っている。

Q5 人類の進歩と調和

(解説)

「新しい跳躍への道」は1993年韓国万博のテーマ。

「未来のエネルギー」は2017年カザフスタン万博のテーマ。

「心をつなぎ、未来を創る」は2020年ドバイ万博のテーマ。

Q6 ワシントン条約

(解説)

ラムサール条約は「水鳥の生息地として重要な湿地を1か所以上指定し、湿地の保全と賢明な利用促進」に関して規定する条約。

生物多様性条約は「生物の多様性の保全」「生物資源の持続可能な利用、利用から生ずる利益の衡平な配分」を目的とした条約。

ロッテルダム条約は「先進国で使用が禁止または厳しく制限されている有害な化学物質や駆除剤が、開発途上国にむやみに輸出されることを防ぐ」ことを目的とした条約。

Q7 日ソ中立条約

(解説)

日ソ共同宣言は第二次世界大戦後の1956年に調印された宣言で、両国間の国交回復と歯舞群島・色丹島の日本への返還が合意された。

日ソ漁業条約は1956年に締結した北西太平洋における漁業資源の保護と有効利用を目的とした条約。

日ソ基本条約は第一次世界大戦後の1925年に締結した国交樹立と対立関係の解消を目的とした条約。

Q8 ノルウェー・オスロ

(解説)

ノーベル賞は、スウェーデンの科学者アルフレッド・ノーベルの遺言に「自分の財産の一部を毎年、物理学・化学・医学、生理学・文学・平和の五つの分野で活躍した人たちに分け与える」と記されていたことから始まる。

遺言には選考委員も指定されており、平和賞には「ノルウェーの議会により選ばれる5人の委員」とされていたことから平和賞だけがノルウェーのオスロによって開催されている。

Q9 世界人権宣言

(解説)

第二次世界大戦中には特定の人種の迫害、大量虐殺など、人権侵害、人権抑圧が横行した。このような経験から、人権問題は国際社会全体にかかわる問題であり、人権の保障が世界平和の基礎であるという考え方が主流になり、世界人権宣言が採択された。

この宣言は、それ自体に法的拘束力は無いが、初めて人権の保障を国際的にうたった画期的なものだった。

Q10 用和為貴(ようわいき)

(解説)

地平天成(ちへいてんせい)

…世の中が穏やかに治まり、万物が栄える様子を表す言葉。「平成」の出典の一つとされる。

安寧秩序(あんねいちつじょ)

…世の中が平和で、社会の安全と秩序が保たれている状態を表す言葉。

王道楽土(おうどうらくど)

…王道によって国を治め、人々が楽しく平和に暮らせる理想的な土地を指す言葉。